第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会		
	課名	ゆうき図書館		
	係名	企画管理係		
	記入者		電話(内線)	34-0150

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	市民情報センター管理運営事業	(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ		(6) 事業主体		市	
① 事業の区分	主要事業	(7) 予算・ 財源等 の種別		事業の性質 一般事業費(ソフト事業)	
② 施策コード	44101 (総合計画掲載 ^ハ - ^ジ 111 ^ハ - ^ジ)	会計区分		一般会計	
基本目標(政策)	4 未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)	財源区分		市単独	
基本施策	4 個性豊かな芸術文化の創造(芸術・文化)	予算科目		款 10 項 5 目 7	
施策	芸術文化を楽しむ機会の充実	予算書上の 事業名称		市民情報センター施設管理運営経費 (予算書 176 ^ハ - ^ジ に掲載)	
施策内容	文化施設の管理・運営	(8) 事務分類		自治事務	
(5) 事業期間	開始 平成 16 年 5 月から 終了 年 月まで (力年)	根拠法令			

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	結城市民及び市民情報センター利用者	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)	市民の学習活動や交流が活発になり、文化的で活気のある生活ができるようになる。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・鯉のぼりの掲揚及びイベント・初級パソコン講座 ・天体教室・白鷗大学公開講座 ・夏休み親子おりがみ教室 ・夏休み子供向けDVD上映会 ・冬休み子供向けDVD上映会 ・新川和江賞～未来をひらく詩のコンクール ・高齢者趣味教養講座～パソコン講座 ・開館10周年記念事業～岩政大樹トークショー～ ・開館10周年記念事業～ゆかいな朗読音楽会～ ・開館10周年記念事業～DVD上映会「夜明け朝明け」～ 	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)	社会が急激に変化しつつある中、文化は人の心に豊かさや潤いを与え、情報は活気あふれる地域社会を作り出すうえで重要である。平成3年の市民文化センターの開館を機に市民の文化活動がより活性化し、市民情報センターが平成16年度の開館時から指定管理者制度を導入し、情報の起点・交点として、文化施設の役割を担っている。
(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境、市民ニーズ等) や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	現在の指定管理期間が平成28年度で終了するが、その後の管理運営方法について検討を行う。		

3. 事業コスト

行政評価 実施計画	実績内容の評価	検討・改善	検討・改善内容を反映		
● 予算内訳	実績額 (千円)	当初予算額 (千円)	計画額・見込額 (千円)		
	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
(1) 事務事業費	事業内容				
	役務費	136	143		
	委託料	113,195	117,874		
	使用料及び賃借料	9,785	9,683		
	工事請負費	2,442	811		
	合計	125,558	128,511		
財源	国庫支出金 (千円)				
	県支出金 (千円)				
	地方債 (千円)				
	その他特定財源 (千円)				
	一般財源 (千円)	125,558	128,511		
	合計 (千円)	125,558	128,511		
	補助・起債制度名				

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）							
指標名	市民情報センター事業開催数	目標値		16	16	16	16
		実績(見込)値	15	16			
		目標値					
		実績(見込)値					
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）							
指標名	市民情報センター来館者数	目標値		360,000	361,000	362,000	363,000
		実績(見込)値	353,900	360,000			
		達成率	97.5 %	99.2 %			
	市民情報センター事業参加人数	目標値		2,100	2,200	2,300	2,400
		実績(見込)値	2,062	2,100			
		達成率	85.9 %	87.5 %			

5. 事業評価

(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。
 子供を対象としたDVD上映会から、高齢者を対象としたパソコン講座、スマートフォン教室など、幅広いニーズに応え、また、図書館と連携した新川和江賞～未来をひらく詩のコンクールの開催など、市民の学習活動や交流の場を提供した。

(2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	市民の学習活動や交流の場を提供する施設として、必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	地域文化の創造に深く係わり、また、施設管理の専門的知識も必要であり、現在のあり方が妥当である。
	手段の妥当性	A	妥当である	市民の幅広いニーズに応じており、妥当である。
効率性	コスト効率 人員効率	C	改善の余地がある	指定管理者制度を導入しており、選定業者次第でコストダウンの可能性はある。
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	利用者に制限を設けておらず、偏りは見られない。
有効性	成果の向上	A	上がっている	来館者数が増加しており、成果は上がっている。
進捗度	事業の進捗	A	順調である	市民の学習活動や交流の場を提供する施設として機能している。

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。
 本市の活性化を促進するための交流の場として利用されている。今後は更に図書館と連携を密にし、市民のニーズに応じた幅広い分野の自主事業・共催事業を開催していく必要がある。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？
 より多くの市民の方に施設を利用してもらえるように、魅力ある自主事業・共催事業の開催及び広報活動を行っていく。

6. 事業の方向性判断

評価主体	27年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続 (成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続 (成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	結城市民情報センターは、市民の文化・学習・交流の場であり、その目指すべき姿の実現に向けゆうき図書館を中心とした施設として様々な自主事業、共催事業の実施、広報活動の充実に向け更なる連携強化を図ること。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。